

## 決 議

農業・農村は、人間の生命の維持に欠くことのできない食料が安定的に供給されるだけでなく、国民に対し、国土や生物多様性の保全、美しく安らぎを与える空間となる景観の形成、文化の伝承、情操教育といった多岐にわたる恩恵をもたらしている。

しかしながら、農業・農村においては、農業従事者の高齢化、減少とともに担い手不足等による荒廃農地の増加や、農地・農業用水等の保全管理への影響など、多くの課題に直面している。また、野生鳥獣による被害拡大や土地改良施設の老朽化の進行は、食料自給率の向上に大きく影響を与え、豪雨時の災害発生及び拡大を招くことが危惧されている。

このため、国においては、「農林水産業・地域の活力創造プラン」を改訂し、強い農林水産業や美しく活力ある農山漁村の実現に向けて力強く推進するとともに、「国土強靱化基本計画」に基づく種々の政策を展開しているとある。

とりわけ、農地の集積・集約の加速化については、担い手が借りやすい農地へ耕作条件を改善するための基盤整備事業制度の再編も進められており、市町村や土地改良区、農地中間管理機構などの関係機関が、今後さらに連携を強化する必要がある。

本県においては「かごしま食と農の県民条例に基づく基本方針」に基づき、我が国の食料供給基地の形成に向け、農業の持続的な発展を目指し、各種施策を推進することとしている。

以上を踏まえ、水土里ネット鹿児島は、鹿児島県の農業・農村の持続的な発展を目指して、これまで培ってきた経験と技術を活用し、農業農村整備事業を強力に推進するため、水土里ネット関係者の総力を結集し、左記事項の実現を、第五十九回通常総会の名において決議する。

### 記

- 一 担い手への農地の集積・集約化に向けた水田の大区画化・汎用化の推進
- 一 食料供給基盤の強化を図るため畑地かんがい施設整備の積極的な推進
- 一 老朽化した農業水利施設の長寿命化や耐震化等の防災・減災対策の推進
- 一 中山間地域の有する多面的機能の維持・増進のための総合的振興の推進
- 一 地域資源の良好な保全管理に向けた水土里サークル活動の積極的な推進
- 一 土地改良区の運営基盤強化と管理体制の充実に向けた取り組みへの支援

右決議する。

平成二十九年三月二十二日

水土里ネット鹿児島（鹿児島県土地改良事業団体連合会）

第五十九回通常総会